

# 伝統に生きる

— あらかわの工芸技術 —

つまみかんざし

いしだいちろう

石田一郎

(令和2年度作品/28分)

DVD



## プロフィール

荒川区町屋四丁目在住

昭和19年(1944) 荒川区町屋生れ

令和元年度、荒川区指定無形文化財保持者に認定

石田さんは、昭和38年(1963)に高等学校を卒業し、3年間会社勤めをした後、父・利重氏(故人、元荒川区指定無形文化財保持者)の下で本格的に修業を始め、技術を修得した。

父・利重氏は、13歳で従兄弟の石田竹次氏の下で修業し、昭和12年に独立した。石田家は代々つまみかんざしを家業としており、最盛期には家族総出で仕事をしたという。

保持者は、高齢の父に代わって家業を担い、平成7年、跡を継ぎ現在に至る。

つまみかんざしは、正方形の薄地の布(おもに絹地の羽二重)をピンセットでつまんで折りたたみ、花びら等を作り、かんざしに仕上げる技術。石田さんは流行を取り入れたデザインを考え、現代的なアレンジを加えて、多彩な作品を製作する。正月用、七五三用、成人式用のかんざしの他、イヤリング、根付、ブローチ、パレット等も手がける。

企画・著作 荒川区・荒川区教育委員会

制作 毎日映画社



## 用具・工具・材料

### (用具・工具等)

ピンセット、糊板、握り鋏、裁ち庖丁、定規、裁ち板など。

※糊板に使う木はツゲ、ナシ、ホオノキなど水分を含みにくい材質のものを使う。

### (材料)

羽二重(絹地)等の布地、台紙、糊、極天(極天糸という絹糸)、紐、針金、ビラ、アシなど。



## 工程

### 一七五三用のつまみかんざし「鶴」の場合一

#### (1) 裁断

- デザインした鶴に合わせたオレンジ、白色、黒色の羽二重を用意する。
- 羽二重を裁断する。大きさは六分～九分四方(約1.8～約2.7cm) まであり、今回は八分四方(約2.4cm)を使用。
- ※作品によっては、綿や化繊など洋服生地を使う場合がある。



#### (2) 骨組み(鶴の土台)を作る

- 針金を同じ長さに切る。
- 紐に針金を通して、台紙にそれを固定し、鶴の首や脚の形に折り曲げる。
- ※台紙の一部を鶴の形に作りやすいように切る。



#### (3) 糊板に姫糊をのせる

- 糊板の表面に糊が一定の厚さになるよう、均等にのせる。

#### (4) つまみ

- 羽二重をピンセットでつまみ折りたんだ「つまみ片」を糊板の上に、規則正しく並べていく。
- ※「つまみ」の技法には先を丸くする「丸つまみ」、細く尖らす「剣つまみ(角つまみ)」などがある。鶴の場合は剣つまみを多く使う。
- ※違った色の羽二重を重ねることで立体感等を出す「重ね」という技法も使う。



#### (5) ふく

- 骨組みをして作った鶴の土台と紐部分に「つまみ片」を置いていく。この工程を「ふく」という。一つ一つの鶴の羽根に見えるように形を作っていく。
- 横挿しの「下がり」で用いる紐に「つまみ片」を置いていく。



#### (6) 乾燥

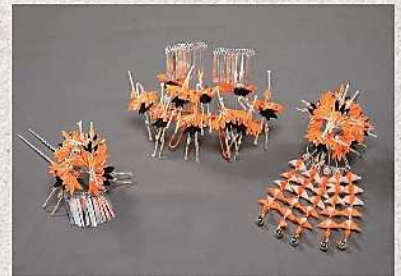
- 乾燥させて糊を乾かす。天気が良ければ、屋外に出し、半日天日で乾かすが、雨天の場合や梅雨の時期には室内でストーブを用いて乾燥させる。

#### (7) 組み上げ

- 前挿し、左右の横挿しをそれぞれの形に配置しながら、極天を巻き付け、組み上げて立体的にまとめる。

#### (8) 仕上げ・完成

- かんざしの高さやバランスを調整した後に、全体の形を固定し完成。



前挿し(真ん中)、横挿し(左右)の3点セット

「伝統に生きる—あらかわの工芸技術」は、江戸から受け継がれてきた無形文化財である伝統工芸技術を保存継承し、広く普及することを目的に、荒川区指定無形文化財保持者の技術を記録した記録映像です。

荒川区ホームページ並びにYouTube(区公式チャンネル)で配信しているほか、DVDを荒川区の図書館で貸し出しています。

#### 内容・伝統工芸技術等に関すること

荒川区立荒川ふるさと文化館 …… 3807-9234

- 荒川区ホームページ 荒川区伝統工芸技術記録映像 | 伝統に生きる—あらかわの工芸技術—  
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a016/bunkageijutsu/dento/arakawadentoniiikiru.html>

#### DVD貸し出しに関すること

ゆいの森あらかわ …… 3891-4349

町屋図書館 …… 3892-9821

尾久図書館 …… 3800-5821

南千住図書館 …… 3807-9221

日暮里図書館 …… 3803-1645

- 荒川区立図書館ホームページ <https://www.library.city.arakawa.tokyo.jp/>

汐入図書サービスステーション …… 3807-8130

冠新道図書サービスステーション …… 3800-3321

